

令和5年度 事後評価シート

施策	37 自然との共生
K G I	<p>①県土における自然環境エリア（自然公園、鳥獣保護区、里地里山等）の割合 【基準値】10%（令和4年）【目標値】20%</p>

【細施策シート】

【細施策シート】							担当部局	県民環境部		
細施策	37-2	生物多様性の保全					施策KGI	①		
K G I	生物多様性についての認知度									
	KGI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
	現状値	60.4 %	目標値	64 %	目標値	67 %	目標値	70 %	目標値	73 %
			実績値	65.3 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
	達成率	102.03 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	判定		達成	判定		判定		判定		

要因分析 【必須】	高校生チャレンジシップや狩猟フェスティバル等の開催を通じて、次世代を担う若い世代に対し、重点的に生物多様性や狩猟の必要性について普及啓発を行ったほか、環境省が認定する自然共生サイトに「愛媛県の県有林」が四国の自治体で初めて認定されるなど、波及・宣伝効果の高い事業に積極的に取り組んだことが要因と考えられる。
5 年 度	改善の方向性 【必須】 内閣府による世論調査（令和4年7月）では、生物多様性についての認知度は72.6%であり、引き続き普及啓発事業を展開して認知度を向上し、県土における自然環境エリアの増加に向け更なる機運醸成を図る。